



# 特別インタビュー

草加市音楽都市宣言30周年&国際ハープフェスティバル35周年を迎えた今回のメインコンサートは特別な企画が盛りだくさん。主催者やゲストの皆さんに、メインコンサートに向けての思いや楽しむポイントを伺いました。

## 日本ハープ協会 会長 井上 美江子

草加市はハープのまち。  
[国際ハープフェスティバルが始まってから35年](#)



©井村重人

[という年月の中で、草加市の皆さんにハープの音色が親しまれているのを感じてきました。](#)

今年のメインコンサートは1日目に特別に結成された吹奏楽団とハープの世界初演の協奏曲の共演。私も演奏者として参加します。

2日目は、草加-日本 国際ハープコンクールの歴代優勝者と、海外からのゲストアレクサンダー・ボルダチョフさんとの共演が楽しめます。彼はポピュラー音楽やオーケストラの楽曲をアレンジして演奏するなどとてもユニークな奏者なのでお楽しみに！

世界的にも歴史のある同コンクールから羽ばたいたハープистが帰ってくる特別なコンサートです。

メインコンサートの他にもプレコンサートを様々開催しており、多くの若い演奏者が出演しています。

伝統あるハープフェスティバルを受け継ぎ、新しいことを取り入れながら、楽しい企画を考えていきます。

## 日本ハープ協会 副会長 宮原 真弓

9/20、新しい市庁舎での、さかはし矢波さんとのプレコンサートはとても



和やかな雰囲気の中、行う事が出来ました。

市庁舎という場所柄、ビジネスライクな空気なので、お越しかださるお客様の人数を心配しましたが、とても盛り上がりました。

終了後も個人的に握手を求めて来てくださる方もいらして、ますます草加市民の方々と共有できるフェスティバルが近づいてきている実感がありました。

[今年のハープフェスティバルは長年私が考えていた、草加市民の方々と共に奏でる音楽祭、というコンセプトが実現した形となり大変嬉しく思います。](#)

日本ハープ協会・フェスティバル委員も一丸となって準備を進めております。

世界でも有名になった「SOKA HARP」を、皆さまどうぞお楽しみください。

## 30周年記念ウィンドオーケストラ 指揮者 さかはし 矢波

今年は“音楽都市宣言”30周年、“ハープフェスティバル”35周年の節目の年。



国内を見渡してもこれだけ長く、音楽を大切にしている自治体はないと思います。

たまたま日本ハープ協会の会長・副会長が私の音大時代の先輩で、市内在住の私に声がかかりました。「何か記念の企画を」と考えた中で、今回のハープ協奏曲の新作初演に決まりました。[しかもこの新作は、“2台のハープと吹奏楽”という、世界でも他に類を見ない形のもの。](#)

音楽を大切にしている草加から世界に発信するにはとてもインパクトのある作品になると思います。

また、今回は市内のアマチュア吹奏楽愛好家や縁のある音楽学校、そしてプロの演奏家の方々と特別編成の吹奏楽団を結成して、世界初演を支える事になっています。

作曲は各方面で大活躍の私の同級生の久木山直さん。どうぞ皆さま、世界初演というたった一度しかない機会を私たちと一緒に体験なさってみてください。

## 委嘱作“2つの赤い星の輝く光” 作曲家 久木山 直

曲名の「2つ」というのは、この曲を演奏してくださる2人の敬愛するハープистをイメージしました。



いくつかの線が絡み合い、ややゆったりしたテンポの旋律からリズムミカルで速い流れに。その後、別の要素が重なり、再度リズムミカルに盛り上がり咆哮して終わります。

ブラスの持っている、弦楽器ではできない、質感や歯切れなどの面白さと、ハープ2台の異なる音域や奏法の絡み合い、ハープらしいアルペジオ、旋律的な動きを意識して聞いてもらえたら嬉しいです。

[曲に込めた思いは、多分皆さんが恋人にラブレターを書いているときと同じような感じだと思います。](#)聴いていただいた方それぞれが素敵な情景を思い浮かべていただけたら嬉しいです。

指揮者はさかはし矢波さん。一緒にこんな大編成の曲を作り上げるという夢のようなことが起こるなんて、本当に嬉しいかぎりです！

**NEW!**

まだまだ楽しめる!

今後のスポットコンサートは…

- はなはた文教マルシェ
  - 📅10/29🕒12時30分～13時 📍文教大学東京あだちキャンパス（足立区）
  - 🎯斬新でダイナミックなエレクトリックハープ&バイオリンのサウンドをお楽しみに！
  - 🎵SANAE（ハープ）、星野沙織（バイオリン）
- 上野学園大学短期大学部
  - 📅11/8🕒18時 📍上野学園大学短期大学部（台東区）
  - 🎯東京の夜景をバックにハープ演奏を。 🎵上野学園ハープアンサンブル、井上美江子（ハープ）、同学学生ほか
  - 📄事前申込制（詳細は草加市文化会館HPへ）

SANAE

星野沙織

## 捨てないで！ 食べきれない食べ物

📞 931-3972 📠 931-9993

まだ食べられるのに捨てられてしまう食べ物を「食品ロス」といいます。日本では1年間で523万トン（令和3年度推計）の食品ロスが発生しており、国民1人当たり毎日お茶碗1杯分のごはんを捨てていることとなります。買すぎや作りすぎ、食べ残しを無くし、食品ロスの削減に協力をお願いします。

## 家庭で余った食品は子ども食堂などに 寄付できるフードドライブへ

回収場所の詳細

**受けられる食品**

- ・賞味期限まで2か月以上あるもの
- ・未開封で常温保存ができるもの
- ・お米・パックご飯
- ・レトルト食品
- ・お菓子、清涼飲料
- ・インスタント麺
- ・乾物

**受けられない食品**

- ・肉、魚、冷蔵・冷凍食品など常温保存ができないもの
- ・野菜、果物など傷みやすいもの
- ・アルコール類



このマークは「音楽都市宣言30周年記念事業・協賛事業」です